



## 自分で考える子どもへ

学習発表会・閉校記念式典と大きな行事があった2学期も終了します。12月は、子どもたちにとって自らの学びと友だちとの関係性、学級集団の在り方について、じっくり向き合う時間になりました。本校では、「子どもが主語の授業づくり」となるよう、特に今年度は、子どもたちが学び方を選択し、自己調整を図って学ぶことができる授業づくりを推進してきました。

これまでの授業では、教師から、本日の学びのゴールを提示され、自分で考える時間・友だちと話していい時間、学級全体での時間が設定され、学習課題を学級全体で解決してきました。全ての子どもが一斉指示のもと活動するため、教師側からの指示が多く、子どもたちは「指示待ち」になりました。指示が子どもたちに丁度良いものであればよいのですが、学級には様々な子どもたちがいます。指示された内容が、簡単すぎると暇を持て余す子や難しくてなかなか上手くいかない子など散見されていました。

東小学校では、子ども一人一人が、自分で考えて行動できるよう授業からアプローチをしてきました。子ども自身が学び方を選択することで、子ども一人一人に適した学びをつくることができます。

例えば、学びのゴールを自分で調節します。やってみて思ったよりできれば、次の一つ上のゴールを狙う姿もたくさん見られるようになります。例えば、誰と学ぶかを自分で決めます。一人で集中して学びたい子もいれば、友だちと一緒に考えたい子もいます。苦手な教科では、先生と一緒に安心して学びたい子もいます。例えば、何で学ぶかも自分で決めます。教科書を大切に学ぶ子もいれば、資料集やインターネットで捕捉情報や資料を追加して詳しく学ぶ子もいます。

こうして子どもたちは1時間の中で、一人一人が学び方を選択する場面が生まれ、自分に合った学びを自分でつくるようになります。

一方で、子どもたちの選択は、客観的に見ると、必ずしも最善ではないかもしれません。時には、友だちと学ぼうとした子たちが、おしゃべりしてしまうこともあるかもしれませんし、インターネットで調べようとした子が、ついつい関係のないページを見ているかもしれません。ですから学習の最後には振り返りをします。45分の学びが、自分にとってどのような時間だったのか、学んだことも大切ですが、自分の時間の使い方や授業への向き合い方についても振り返ることは大切です。そうして判断力を養っていきます。

先が見える大人は、危うい子どもたちを心配し、失敗しない方法を教えたくなります。命に関わる失敗を経験させるわけにはいきませんが、危険と安全の境目を見抜く判断力を養わない限り、自立することはできません。何かを成し遂げるために、どういう取組が必要となるのか？周りの人と協働していくためにはどういう振る舞いが求められるのか？自分で進める取組には、自分で決める自由がある一方で、その結果には、よくも悪くも責任が伴うこと。

学校には、多くの、様々な子どもたちがいます。学校で一緒に学ぶ意味は、多様性の中でいかに自分の強みを活かして、仲間たちとともに創り上げていくか、体験的に学んでいくことにあります。

今年も、たくさんの保護者・地域の皆様に、本校の教育活動へ温かいご理解と多大なるご協力を賜りました。誠にありがとうございました。東小学校での学びもあと3か月（登校回数43回）…。東小学校の閉校、中央学園の開校と慌ただしくなることは間違ひありませんが、最後まで子どもたちが自分で考え、決めることができるよう支えてまいります。

## 冬休みについて

12月25日（木）から1月14日（水）までの21日間が冬休みとなります。各学級では、冬休み中の生活について指導を行い、子どもたちが安全で充実した日々を過ごせるよう声かけをしています。ご家庭でも、以下の点についてご配慮・ご協力をお願いいたします。

- 道路脇の雪山に登らない、横断歩道は左右を確認してから渡る、軒下にいかないなど、冬ならではの危険に注意する。
- 外出の際は、行き先、帰宅時刻、一緒に行動する友だちの名前などを保護者に伝える。
- スマートフォンやゲーム機の使用については、個人情報を教えない、人を傷つける言葉は使わない。
- 万が一、危険を感じたときは、すぐに助けを求める。

長期休業中は、生活のリズムが乱れやすく、思わぬ事故やトラブルに巻き込まれることもあります。安全で楽しい冬休みとなるよう、ご家庭での見守りと温かなサポートをよろしくお願ひいたします。



## 西小学校との交流について

来年度開校する岩内中央学園に向けて、東小と西小の子どもたちが仲を深められるよう、交流を進めています。4年生は、5日（金）に東小体育館で合同クリスマス会を行いました。

「尻尾取りゲーム」「自己紹介」「ドッジボール」など、子どもたちは元気いっぱいに取り組みました。初めは緊張していた様子も見られましたが、ゲームを通して次第に打ち解けていきました。

子どもたちからは「楽しかった」「来年の4月が楽しみ」といった声も聞かれました。中央学園開校に向け、期待が高まる交流となりました。



## 学校閉庁日のお知らせ

12月27日（土）～1月5日（月）は学校閉庁日です。期間中は職員が不在のため、お問い合わせは平日（8:00～16:30）にお願いします。事故や病気など緊急時は岩内町教育委員会（62-7099）へご連絡ください。

## 幼保小の交流会を行いました

4日（木）、1年生が高田幼稚園といわない東保育所の年長さんを迎えて、交流会を行いました。

この取組は、年長児が小学校の雰囲気に親しみ、入学への期待や安心感をもてるようになりますこと、また1年生にとっても年下の子どもたちと関わる中で、思いやりや優しさを育むことを目的としています。

当日は、生活科「秋のおもちゃをつくろう」の学習をもとに、どんぐりや落ち葉、おなまみを使ったマラカスや魚つりゲームなどを準備しました。さらに、年長さんに楽しんでもらえるよう、ルールの説明の練習にも取り組みました。

1年生が優しく声をかけながら年長さんを案内する姿が見られました。一緒に遊びながら自然と会話が生まれ、穏やかで温かなふれあいの時間となりました。年長さんにとっては小学校への期待がふくらむ機会に、1年生にとっては成長を実感できる貴重な経験となりました。



## 草の根教育実習

9日（火）～11日（木）の3日間、北翔大学の学生が「草の根教育実習」を行いました。短い期間ではありましたが、授業のサポートや算数の授業を担当し、積極的に教育活動に取り組みました。

さらに15日（月）には、小樽潮陵高校の生徒がインターンシップとして職場体験を行い、授業の補助を通して教育現場を体験しました。

実習生との関わりから、子どもたちは新鮮な刺激を受け、学ぶことや人と関わることへの関心を高め、自然と笑顔があふれる時間となりました。職員にとっても初心に立ち返る機会となりました。

本校では、未来の教員を目指す若い世代に学びの場を提供し、次世代の教育を担う人材の育成に努めています。

